

高等学校 令和8年度（2学年用） 教科 家庭 科目 家庭基礎

教科： 家庭 科目： 家庭基礎 単位数： 2 単位

対象学年組：第 2 学年 A 組～ H 組

教科担当者：（A～G組：有川 H組：麻野間）

使用教科書：（実教出版「図説 家庭基礎」）

教科 家庭 の目標：

【知識及び技能】人間の将来にわたる発達と生活の営みを総合的に捉え、家族・家庭の意義、家族・家庭と社会との関わりについて理解を深め、家族・家庭、衣食住、消費や環境などについて、生活を主体的に営むために必要な理解を図るとともに、それらに係る技能を身に付けるようにする。

【思考力、判断力、表現力等】家庭や地域及び社会における生活の中から課題を見いだして課題を設定し、解決策を構想し、実践を評価・改善し、考察したことを根拠に基づいて論理的に表現するなど、生涯を見通して生活の課題を解決する力を養う。

【学びに向かう力、人間性等】さまざまな人々と協働し、よりよい社会の構築に向けて、地域社会に参画しようとするとともに、自分や家庭、地域の生活を主体的に創造しようとする実践的な態度を養う。

科目 家庭基礎 の目標：

【知識及び技能】	【思考力、判断力、表現力等】	【学びに向かう力、人間性等】
人の一生と家族・家庭及び福祉、衣食住、消費生活・環境などについて、生活を主体的に営むために必要な基礎的な理解を図るとともに、それらに係る技能を身に付ける。	家庭や地域及び社会における生活の中から課題を見いだして課題を設定し、解決策を構想し、実践を評価・改善し、考察したことを根拠に基づいて論理的に表現するなど、生涯を見通して課題を解決する力を身に付ける。	様々な人々と協働し、よりよい社会の構築に向けて、地域社会に参画しようとするとともに、自分や家庭、地域の生活を想像し、実践しようとする態度を矢視会う。

単元の具体的な指導目標	指導項目・内容	評価規準	知	思	態	配当 時数
<p>A単元「自分らしい生き方と家族」</p> <p>【知識及び技能】 生涯発達の視点で青年期の課題を理解するとともに、家族・家庭の機能と家族関係、家族・家庭生活を取り巻く社会環境の変化や課題、家族・家庭と社会との関わりについて理解する。</p> <p>【思考力、判断力、表現力等】 家庭や地域のよりよい生活を創造するために、自己の意思決定に基づき、責任をもって行動することや、男女が協力して、家族の一員としての役割を果たし家庭を築くことの重要性について課題を見いだして課題を設定し、解決策を構想し、実践を評価・改善し、考察したことを根拠に基づいて論理的に表現するなどして課題を解決する力を身に付ける。</p> <p>【学びに向かう力、人間性等】 様々な人々と協働し、よりよい社会の構築に向けて、青年期の自立と家族・家庭について、課題の解決に主体的に取り組んだり、振り返って改善したりして、地域社会に参画しようとするとともに、自分や家庭、地域の生活の充実向上を図るために実践しようとする。</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・PDCAサイクルののっとり生活設計について考える。 ・ライフプランを作成し生活にはどのような場面で金銭が必要となるか考える。 ・青年期の生き方について自立の観点から学習する。 ・自己分析をすることで自分らしい生き方について考える。 ・生活を支える労働について学ぶ。 ・将来の職業選択について考える。 ・生活時間について考え、男女の違いについて比較する。 ・男女共同参画社会をめざす 	<p>【知識・技能】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・各ライフステージごとの発達課題について理解し、それぞれの発達段階で起こり得るライフイベントと関連させて理解することができる。 ・生活設計と生活資源の重要性について理解できる。 ・4つの自立について理解し、自分らしさは一人ひとり異なることを理解できる。 ・職業労働の雇用形態について理解し、職業には自己実現の要素もあることが理解できる。 ・家事労働の意義や大切さについて理解できる。 ・固定的性別役割分業やワークライフバランスなどについて理解できる。 <p>【思考・判断・表現】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・自分の適性について考えることができる。 ・自分のライフプランを考えることができる。 ・自分自身の生活を見つめ、自立へむけて課題を発見し、将来の発達課題ともかかわらせ自身の将来について思考・判断することができる。 <p>【主体的に学習に取り組む態度】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・自己分析をして、自分らしい生き方について考えられる。 ・職業について、近い将来のことという意識をもって、積極的に学習に臨んでいる。 ・男女共同参画社会など、現在の社会的状況について、興味を持って知ろうとする態度がある。 	○	○	○	6
<p>B 単元「衣生活をつくる」</p> <p>【知識及び技能】 目的に応じた被服の機能と着装について理解するとともに、健康で快適な衣生活に必要な情報の収集・整理ができるようになる。</p> <p>・被服材料、被服構成及び被服衛生について理解するとともに、被服の計画・管理に必要な技能を身に付ける。</p> <p>【思考力、判断力、表現力等】 被服の機能性や快適性について課題を見いだして課題を設定し、解決策を構想し、実践を評価・改善し、考察したことを根拠に基づいて論理的に表現するなどして課題を解決する力を身に付ける。</p> <p>【学びに向かう力、人間性等】 様々な人々と協働し、よりよい社会の構築に向けて、衣生活と健康について、課題の解決に主体的に取り組んだり、振り返って改善したりして、地域社会に参画しようとするとともに、自分や家庭、地域の生活の充実向上を図るために実践しようとする。</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・人と衣服のかかわりや、衣服の機能について ・快適で安全な衣服について ・繊維の種類と特徴、糸や布について ・家庭での洗濯・保管の方法 ・衣生活と資源・環境のかかわり、また、環境に配慮した衣生活について ・ファストファッションについて 	<p>【知識・技能】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・衣服が着用されるようになった説について、その背景や風土などを考えながら理解できる。 ・自然環境と衣服のかかわり、社会環境と衣服の関係から、衣服が持つ機能を理解することができる。 ・健康と安全に配慮した着装について理解できる。 ・繊維の種類と特徴と用途が理解できる。 ・織物・編物の種類や構造が理解できる。 ・実生活において、衣類の入手から処分まで、計画的な衣生活を営む知識を身に付けている。 ・衣服を購入する際の表示の見方、洗濯する際の表示の見方がわかる。 ・衣類の製造には、多くのエネルギーが使われていることを知り、衣類と資源についての関係が理解できる。 ・洗濯の環境への影響、廃棄処分における環境への影響を考え、リユースなど、環境に配慮した衣生活につなげることができる。 ・私たちの衣生活が世界規模で営まれていることを理解できる。 <p>【思考・判断・表現】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・快適な衣服とはどのような着心地か考えら 	○	○	○	12

1 学期

		れる。 ・衣服の購入の際、自分のサイズを把握し、表示から必要な情報を読み取ることができ る。 【主体的に学習に取り組む態度】 ・和服の特徴や装いなどに関心を持ち、理解を深めようとしている。 ・実験に積極的に取り組んでいる。 ・被服実習に積極的に取り組んでいる。					
	C 単元「ホームプロジェクト」 【知識及び技能】 ホームプロジェクト及び学校家庭クラブ活動の意義と実施方法について理解する。 【思考力、判断力、表現力等】 自己の家庭生活や地域の生活と関連付けて生活上の問題を見いだして課題を設定し、解決策を構想し、実践を評価・改善し、考察したことを根拠に基づいて論理的に表現するなどして課題を解決する力を身に付ける。 【学びに向かう力、人間性等】 様々な人々と協働し、よりよい社会の構築に向けて、ホームプロジェクトと学校家庭クラブ活動について、課題の解決に主体的に取り組んだり、振り返って改善したりして、地域社会に参画しようとするとともに、自分や家庭、地域の生活の充実向上を図るために実践しようとする。	・ホームプロジェクトに関心を持ち、主体的に学習活動に取り組む。 ・生活上の課題を見いだし、その解決を目指して計画をたてる。 ・生活上の課題に対する成果と課題をまとめて発表し、活動全体を振り返る	【知識・技能】 ホームプロジェクト及び学校家庭クラブ活動の意義と実施方法について理解している。 【思考・判断・表現】 自己の家庭生活や地域の生活と関連付けて生活上の問題を見いだし課題を設定し、解決策を構想し、実践を評価・改善し、考察したことを根拠に基づいて論理的に表現するなどして課題を解決する力を身に付けている。 【主体的に学習に取り組む態度】 様々な人々と協働し、よりよい社会の構築に向けて、ホームプロジェクトと学校家庭クラブ活動について、課題の解決に主体的に取り組んだり、振り返って改善したりして、地域社会に参画しようとするとともに、自分や家庭、地域の生活の充実向上を図るために実践しようとしている。	○	○	○	3
	定期考査			○	○		1
	D単元「食生活と健康」 【知識及び技能】 ・ライフステージに応じた栄養の特徴や食品の栄養的特質、健康や環境に配慮した食生活について理解するとともに、自己や家族の食生活の計画・管理に必要な技能を身に付ける。 ・おいしさの構成要素や食品の調理上の性質、食品衛生について理解するとともに、目的に応じた調理に必要な技能を身に付ける。 【思考力、判断力、表現力等】 食の安全や食品の調理上の性質、食文化の継承を考慮した献立作成や調理計画、健康や環境に配慮した食生活について問題を見いだし課題を設定し、解決策を構想し、実践を評価・改善し、考察したことを根拠に基づいて論理的に表現するなどして課題を解決する力を身に付ける。 【学びに向かう力、人間性等】 様々な人々と協働し、よりよい社会の構築に向けて、食生活と健康について、課題の解決に主体的に取り組んだり、振り返って改善したりして、地域社会に参画しようとするとともに、自分や家庭、地域の生活の充実向上を図るために実践しようとする。	・食の安全や健康のかかわり、現代の食生活の変化と問題点について ・5大栄養素と水について ・からだのつながりについて ・炭水化物の働きと、炭水化物を多く含む食品について ・脂質の働きと、脂質を多く含む食品について ・たんぱく質の働きと、たんぱく質を多く含む食品について ・ミネラルの働きと、ミネラルを多く含む食品について ・味に大きな影響を及ぼす調味料や香辛料、さまざまな加工食品について ・食品の旬や選択する際のポイント、食品の品質表示について ・食中毒の種類 ・食品添加物の使用の目的や安全性について ・調理の実践と理論やコツ	【知識・技能】 ・ライフステージに応じた栄養の特徴や食品の栄養的特質、健康や環境に配慮した食生活について理解しているとともに、自己や家族の食生活の計画・管理に必要な技能を身に付けている。 ・おいしさの構成要素や食品の調理上の性質、食品衛生について理解しているとともに、目的に応じた調理に必要な技能を身に付けている。 【思考・判断・表現】 食の安全や食品の調理上の性質、食文化の継承を考慮した献立作成や調理計画、健康や環境に配慮した食生活について問題を見いだし課題を設定し、解決策を構想し、実践を評価・改善し、考察したことを根拠に基づいて論理的に表現するなどして課題を解決する力を身に付けている。 【主体的に学習に取り組む態度】 様々な人々と協働し、よりよい社会の構築に向けて、食生活と健康について、課題の解決に主体的に取り組んだり、振り返って改善したりして、地域社会に参画しようとするとともに、自分や家庭、地域の生活の充実向上を図るために実践しようとしている。	○	○	○	10
2 学 期	A単元「自分らしい生き方と家族」 【知識及び技能】 生涯発達の視点で青年期の課題を理解するとともに、家族・家庭の機能と家族関係、家族・家庭生活を取り巻く社会環境の変化や課題、家族・家庭と社会との関わりについて理解する。 【思考力、判断力、表現力等】 家庭や地域のよりよい生活を創造するために、自己の意思決定に基づき、責任をもって行動することや、男女が協力して、家族の一員としての役割を果たし家庭を築くことの重要性について問題を見いだし課題を設定し、解決策を構想し、実践を評価・改善し、考察したことを根拠に基づいて論理的に表現するなどして課題を解決する力を身に付ける。 【学びに向かう力、人間性等】	・さまざまな家族形態について ・世帯構成の変化について学習し、現代の家族の課題と支援について、事例をもとに考える。 ・世帯構成の変化について学習し、現代の家族の課題と支援について、事例をもとに考える。 ・家族に関する法律を知り、その理念や現在の動きについて学ぶ。	【知識・技能】 ・結婚、家族・家庭の形、家族・家庭の役割について理解している。 ・世帯構成や世帯人員のグラフから、時代とともに変化していることを理解できる。 ・家族に関する課題が生じており、それに対する社会的支援があることを理解できる。 ・家族の法律の理念を理解できる。 ・民法改正について理解できる。 【思考・判断・表現】 ・家族に関する法律についての知識を身に付けている。 ・人の一生に関わる法律について理解しようとしている。 【主体的に学習に取り組む態度】 ・自分にとっての家族について考えられる。人により家族と思う範囲や家族形態が異なることについてわかっていくとしている。将来の自	○	○	○	8

<p>様々な人々と協働し、よりよい社会の構築に向けて、青年期の自立と家族・家庭について、課題の解決に主体的に取り組んだり、振り返って改善したりして、地域社会に参画しようとするとともに、自分や家庭、地域の生活の充実向上を図るために実践しようとする。</p>		<p>分がつくる家族について考えようとしている。 ・法律と自分のかかわりについて理解し、成年年齢の変更や理由、権利と責任などについて、考えようとしている。</p>				
<p>単元「子どもの生活と保育」 【知識及び技能】 乳幼児期の心身の発達と生活、親の役割と保育、子供を取り巻く社会環境、子育て支援について理解するとともに、乳幼児と適切に関わるための基礎的な技能を身に付ける。 【思考力、判断力、表現力等】 子供の健やかな発達のために親や家族及び地域や社会の果たす役割の重要性について問題を見いだして課題を設定し、解決策を構想し、実践を評価・改善し、考察したことを根拠に基づいて論理的に表現するなどして課題を解決する力を身に付ける。 【学びに向かう力、人間性等】 様々な人々と協働し、よりよい社会の構築に向けて、子供の生活と保育について、課題の解決に主体的に取り組んだり、振り返って改善したりして、地域社会に参画しようとするとともに、自分や家庭、地域の生活の充実向上を図るために実践しようとする。</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・人の発達において、保育や人のかかわりがいかに重要であるかを、事例をもとに考える。 ・子どものよい生活習慣はすこやかな成長を促すことや、子どもの健康管理や安全対策の重要性について学ぶ。 ・子どもを生み育てる意義と人間形成の過程について考える。 ・これからの親子関係について、事例をもとに考える。 ・子育てにおける社会環境について考える。 ・仕事と子育てが両立できる環境について考える。 ・子どもの権利とその歩みについて学習する。 ・子どもの福祉に関する活動と社会的問題について考える。 	<p>【知識・技能】 乳幼児期の心身の発達と生活、親の役割と保育、子供を取り巻く社会環境、子育て支援について理解しているとともに、乳幼児と適切に関わるための基礎的な技能を身に付けている。 【思考・判断・表現】 子供の健やかな発達のために親や家族及び地域や社会の果たす役割の重要性について問題を見いだして課題を設定し、解決策を構想し、実践を評価・改善し、考察したことを根拠に基づいて論理的に表現するなどして課題を解決する力を身に付けている。 【主体的に学習に取り組む態度】 様々な人々と協働し、よりよい社会の構築に向けて、子供の生活と保育について、課題の解決に主体的に取り組んだり、振り返って改善したりして、地域社会に参画しようとするとともに、自分や家庭、地域の生活の充実向上を図るために実践しようとしている。</p>	○	○	○	6
<p>定期考査</p>			○	○		1
<p>E単元「共生社会と福祉」 【知識及び技能】 生涯を通して家族・家庭の生活を支える福祉や社会的支援について理解する。 【思考力、判断力、表現力等】 家庭や地域及び社会の一員としての自覚をもって共に支え合って生活することの重要性について問題を見いだして課題を設定し、解決策を構想し、実践を評価・改善し、考察したことを根拠に基づいて論理的に表現する。</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・介護保険制度について学習する。 ・これからの介護と課題について、事例を用いて考える。 ・福祉、ソーシャル・インクルージョンの考え方を学ぶ。 ・自助、互助、共助、公助の状況に応じたバランスを考える。 ・社会保障制度とその目的について学ぶ。 ・地域福祉の担い手を考え、助け合うことについて学ぶ。 	<p>【知識・技能】 生涯を通して家族・家庭の生活を支える福祉や社会的支援について理解している。 【思考・判断・表現】 家庭や地域及び社会の一員としての自覚をもって共に支え合って生活することの重要性について問題を見いだして課題を設定し、解決策を構想し、実践を評価・改善し、考察したことを根拠に基づいて論理的に表現するなどして課題を解決する力を身に付けている。 【主体的に学習に取り組む態度】 様々な人々と協働し、よりよい社会の構築に向けて、共生社会と福祉について、課題の解</p>	○	○	○	-